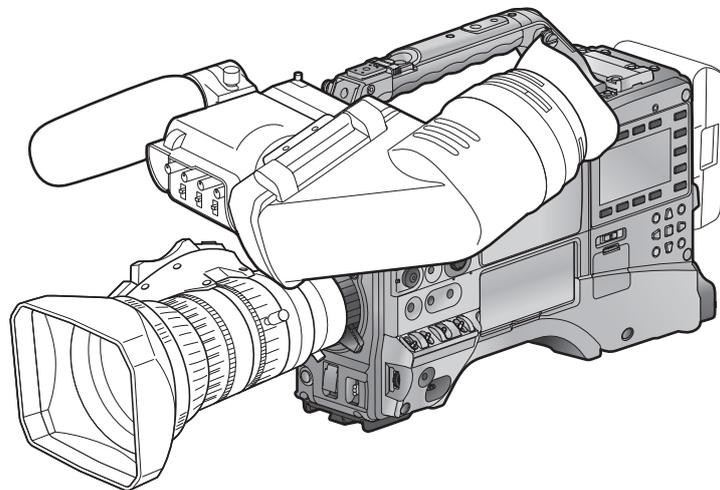


Panasonic®

取扱説明書 簡易版

メモリーカードカメラレコーダー
品番 **AJ-PX800G**

P2HD



HDMI 

AVCULTRA **AVCINTRA** **AVC LongG**

DVCPROHD

DVCPRO50

DVCPRO

DN

簡易版
取扱説明書

詳細は、当社Webサイト (<http://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (HTML) を参照してください。

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

| | |
|------------------------|----|
| 安全上のご注意 | 3 |
| ご使用前に | 6 |
| ご使用地域への設定（フレーム周波数等の設定） | 7 |
| 付属品 | 7 |
| 各部の名称 | 8 |
| 電源部、およびアクセサリ取り付け部 | 8 |
| 音声機能部（入力系） | 9 |
| 音声機能部（出力系） | 10 |
| 撮影・記録／再生機能部 | 11 |
| メニュー操作部、およびサムネール操作部 | 14 |
| タイムコード関連部 | 15 |
| ワーニング／状態表示部 | 16 |
| SmartUI表示（[HOME]画面） | 16 |
| 外部 DC 電源の使用について | 17 |
| 本機搭載ファームウェアのアップデート | 18 |
| 保証とアフターサービス（よくお読みください） | 19 |
| 修理を依頼される時 | 19 |
| 定格 | 19 |
| 定格 | 19 |

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Apple、Macintosh、Mac OS、QuickTime、iPad、iPhone は、米国 Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- UniSlot は池上通信機株式会社登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合
 詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
- Use of DCF Technologies under license from Multi-Format, Inc.

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 表記について

- [] の語句はビューファインダーや SmartUI に表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは、「SD メモリーカード」と記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード AJ-P2E064FG（別売品）などを「P2 メモリーカード」と記載しています。
- 「microP2」ロゴがついたメモリーカード AJ-P2M032AG（別売品）などを「microP2 メモリーカード」と記載しています。microP2 カードアダプター AJ-P2AD1G（別売品）に挿入して使用します。
- P2 メモリーカードと microP2 メモリーカードは特に区別しない限り、「P2 カード」とのみ記載しています。
- USB に接続される外部ハードディスクドライブ（HDD）などのメディアを「ストレージデバイス」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **危険** 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

  してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…



- バッテリーの端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- バッテリーは、分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしてしない
- バッテリーは、電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- バッテリーは、炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）
⇒使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
⇒本機と接続検証済みのものを推奨します。
バッテリーに付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。
（接続検証済みバッテリーについては、取扱説明書（PDF）の「第3章 準備」の「電源の供給」を参照してください。）
⇒バッテリーは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。



- 充電するときは、必ずバッテリーメーカー指定の充電器を使用する
（指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。）
⇒充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。

警告

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があった時は、直ちにバッテリーを外す
〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕
（そのまま使用すると、火災の原因になります。）
⇒外部 DC 電源で使っている場合は、DC コードを外してください。
⇒お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 警告 (つづき)

| | |
|---|--|
|  | <p>■ DCコードのプラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグは使用しないでください。 (DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p> |
| | <p>■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災の原因になります。) ⇒雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。</p> |
| | <p>■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p> |
| | <p>■ 外部 DC 電源を使用するときは、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒詳しくは 17 ページを参照してください。 (DC 電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p> |
| | <p>■ 外部 DC 電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部 DC 電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒詳しくは 17 ページを参照してください。 ⇒外部 DC 電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒外部 DC 電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。</p> |
| | <p>■ レンズの取り付け・締め付けは確実に (落下すると事故の原因になります。)</p> |
|  | <p>■ DCコードが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。) ⇒DCコードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 (DCコードは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p> |
| | <p>■ 乗り物を運転しながら使わない (事故の誘発につながります。) ⇒歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。</p> |
| | <p>■ ハンドルのアクセサリ取り付け穴を使い本機を吊り下げない (ハンドルが破損し、本機が落下してけがの原因になります。)</p> |
| | <p>■ メモリーカード (別売品) は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p> |
| | <p>■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど * の原因になります。) ⇒長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。</p> |
| | <p>■ ワイヤレススロット以外のカバーは外さない (火災の原因になります。) ⇒点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</p> |
|  <p>分解禁止</p> | <p>■ 分解や改造をしない (火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> |


注意

| | |
|---|--|
|  | <p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたりじゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p> |
| | <p>■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。</p> |
| | <p>■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、故障の原因となります。)</p> |
| | <p>■ イヤホン使用時は音量を上げすぎない (イヤホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)</p> |
| | <p>■ コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない (コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)</p> |
| | <p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。)</p> |
| | <p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)</p> |
|  | <p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーや DC コードを外す (火災の原因になります。)</p> |
| | <p>■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する (コードが傷つき、火災の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</p> |
| | <p>■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機が出す電磁波などが、計器類に影響を及ぼす恐れがあります。)</p> |
| | <p>■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないように固定したりカバーなどをする (足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)</p> |

ご使用前に

■ ご使用前には、必ず内蔵電池が消耗していないか確認し、日付 / 時刻を設定してください。

内蔵電池が消耗していると、本機の内蔵時計がリセットされます。そのため、クリップのメタデータが正しく記録されず、サムネール画面で正しく表示されないことがあります。

ご使用前には、内蔵電池が消耗していないか確認してください。

また、日付 / 時刻を正しく設定してください。

■ ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

不要になったバッテリーの廃棄は、バッテリーメーカーの指示に従ってください。



Ni-MH
Ni-Cd
Li-ion

■ レーザー光線についての留意点

レーザー光線が MOS センサーに照射されると、MOS センサーを破壊するおそれがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

■ 次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機、および P2 カードの使用で、万一これらの不具合により録画されなかった場合、録画内容の保証についてはご容赦ください。
- 記録の前にカレンダー、タイムゾーンの設定・確認をしてください。記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。

■ メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューター機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。廃棄 / 譲渡するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ ワイヤレス LAN をご使用時の留意点

DIRECT モードで 5 GHz 設定時、屋外での使用が禁止されています。

* DIRECT モードは、スマートフォン、タブレット端末、パーソナル コンピューターから本機に直接アクセスするモードです。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

- 1 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
- 2 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 3 This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
- 4 本製品には、OpenBSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 5 This product includes PHP, freely available from <http://www.php.net/>.
- 6 This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 7 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

これらの内容（原文【英文】で記載しております）と、ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

■ USB ドライバーインストール時の留意点

ドライバーに関する最新情報は次の Web サイトをご覧ください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

- Web サイトから必要なドライバーをパーソナルコンピューターにインストールしてください。
- ドライバーのインストール手順は、FWeb サイトにあるインストールマニュアルを参照してください。

ご使用地域への設定（フレーム周波数等の設定）

本機は使用地域が未設定の状態でご出荷されています。初めて本機をご使用になるときには、次の手順でご使用地域のフレーム周波数に設定を変更してください。

1 使用地域が未設定の状態、本機に電源を接続して〈POWER〉スイッチを〈ON〉にする。

使用地域を設定する [AREA SELECT] 画面が表示されます。

2 ジョグダイヤルボタン（またはカーソルボタン Δ/∇ ）で [NTSC] / [NTSC (J)]（日本） / [PAL] の中から使用する地域を選択し、ジョグダイヤルボタン（または〈SET〉ボタン）を押す。

3 確認メッセージで [YES] を選択し、ジョグダイヤルボタン（または〈SET〉ボタン）を押す。

選択した使用地域に従って初期化され、本機は自動的に再起動されます。

なお、一度設定すると、次回電源を入れたとき以降、この画面は表示されません。使用地域を変更する場合は、[OPTION MENU] → [AREA SETTING] で設定してください。

NOTE

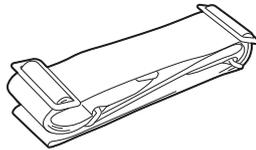
・本機を初めてご使用の状態でのこの設定を行うと、本機は次の項目のみ変更されます。次の項目以外のメニュー設定値は工場出荷時の状態となります。

| | 工場出荷時 | [NTSC] | [NTSC (J)] | [PAL] |
|---------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| [LINE&FREQ] | [1080-59.94i] | [1080-59.94i] | [1080-59.94i] | [1080-50i] |
| [REC FORMAT] | [AVC-I100/60i] | [AVC-I100/60i] | [AVC-I100/60i] | [AVC-I100/50i] |
| [CAMERA MODE] | [60i] | [60i] | [60i] | [50i] |
| [SETUP] | [7.5%A] | [7.5%A] | [0%] | [0%] |
| [HEADROOM] | [20dB] | [20dB] | [20dB] | [18dB] |
| [REC META DATA] → [LANGUAGE] | [ENGLISH] | [ENGLISH] | [JAPANESE] | [ENGLISH] |
| M/D/Y 表示 * | M/D/Y | M/D/Y | Y/M/D | D/M/Y |
| [TIME ZONE] | +0:00 | +0:00 | +9:00 | +0:00 |

* メニュー項目にはありません。M：月、D：日、Y：年を示しています。

付属品

ショルダーベルト（PDF 取扱説明書 37 ページ）



マウントキャップ（製品本体にあらかじめ取り付けられています）（9 ページ）

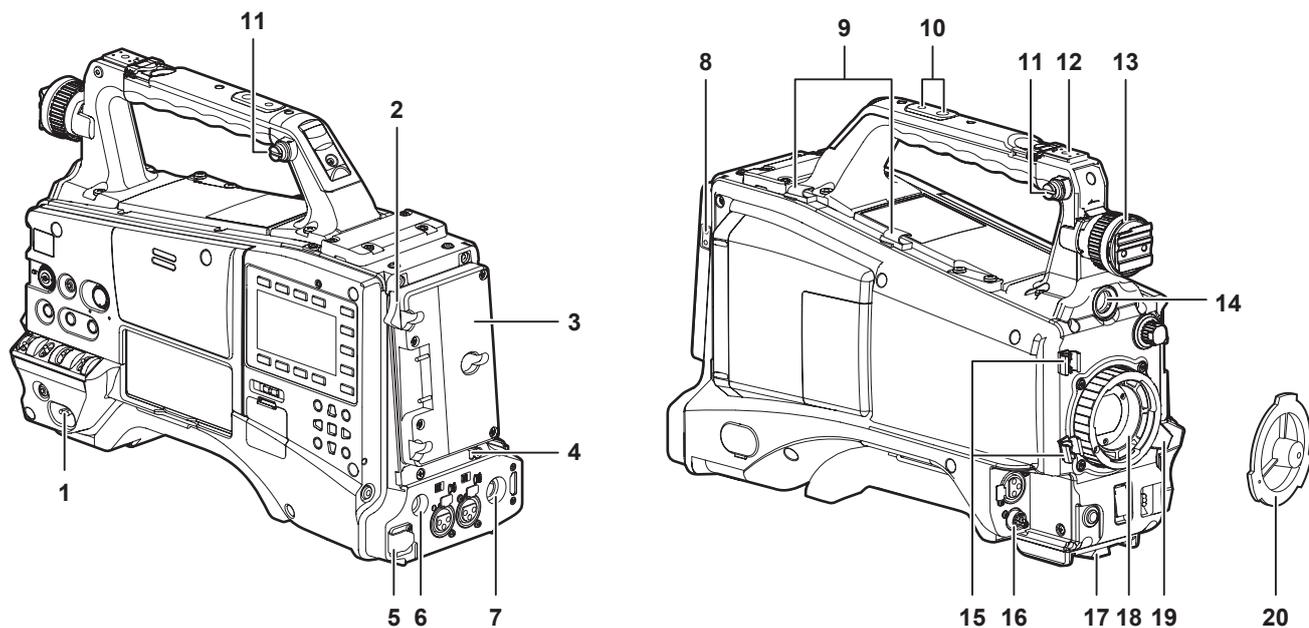


NOTE

・包装材料は商品を取り出した後、適切に処理してください。

各部の名称

電源部、およびアクセサリ取り付け部



- 1 〈POWER〉スイッチ
電源の入/切スイッチです。
- 2 バッテリー取り外しレバー
バッテリー取り外しレバーを下まで倒してバッテリーを取り外します。
- 3 バッテリーホルダー
アントンパワー製のバッテリーを取り付けます。
- 4 照明コントロールスイッチ
- 5 〈DC IN〉端子
外部 DC 電源の入力用端子です。外部 DC 電源と接続します。
- 6 〈DC OUT〉端子
DC 12 V の出力端子です。最大 1.5 A の電流を取り出すことができます。

NOTE

・外部機器を接続する場合は極性を十分にご確認のうえ、接続してください。故障の原因になります。

- 7 〈REMOTE〉端子
リモートコントロールユニット AJ-RC10G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。
また、エクステンションコントロールユニット AG-EC4G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールすることができます。
- 8 照明出力用端子
アントンパワー製のウルトラライト 2 (別売品)、または同等品で 50 W 以下のビデオライトが接続できます。
ライトを点灯時はバッテリー残量が急激に減少します。ライト使用時には 90 Wh 以上のバッテリーの使用をお勧めします。
- 9 ケーブルホルダー
ライトケーブル、マイクケーブルの固定に使用します。
- 10 アクセサリ取り付け穴
アクセサリを取り付けます。アクセサリ取り付けの用途のみに使用してください。
 - 取り付け穴サイズ
 - 1/4-20 UNC (ねじ長さ 10 mm 以下)
 - 3/8-16 UNC (ねじ長さ 10 mm 以下)
- 11 ショルダーベルト取り付け金具
ショルダーベルトを取り付けます。
- 12 ライトシュー
ビデオライトなどを取り付けます。
取り付け穴サイズ
 - 1/4-20 UNC (ねじ長さ 6 mm 以下)
- 13 ビューファインダー左右位置固定リング
ビューファインダーの左右位置を調整する場合にゆるめ、ビューファインダーを左右にスライドさせて見やすい位置に調整します。調整後、締めつけて固定します。
- 14 〈VF〉端子
ビューファインダー AG-CVF15G (別売品) などを取り付けます。
- 15 レンズケーブル/マイクケーブルクランプ
レンズケーブルやマイクケーブルを固定するためのクランプです。

16 〈LENS〉 端子

レンズの接続コードをつなぎます。ご使用になるレンズについての詳しい説明は、レンズの取扱説明書を参照してください。

17 三脚マウント

本機を三脚に固定するときに、三脚アダプター SHAN-TM700（別売品）を取り付けます。

18 レンズマウント（2/3 型バヨネット式）

レンズを取り付けます。

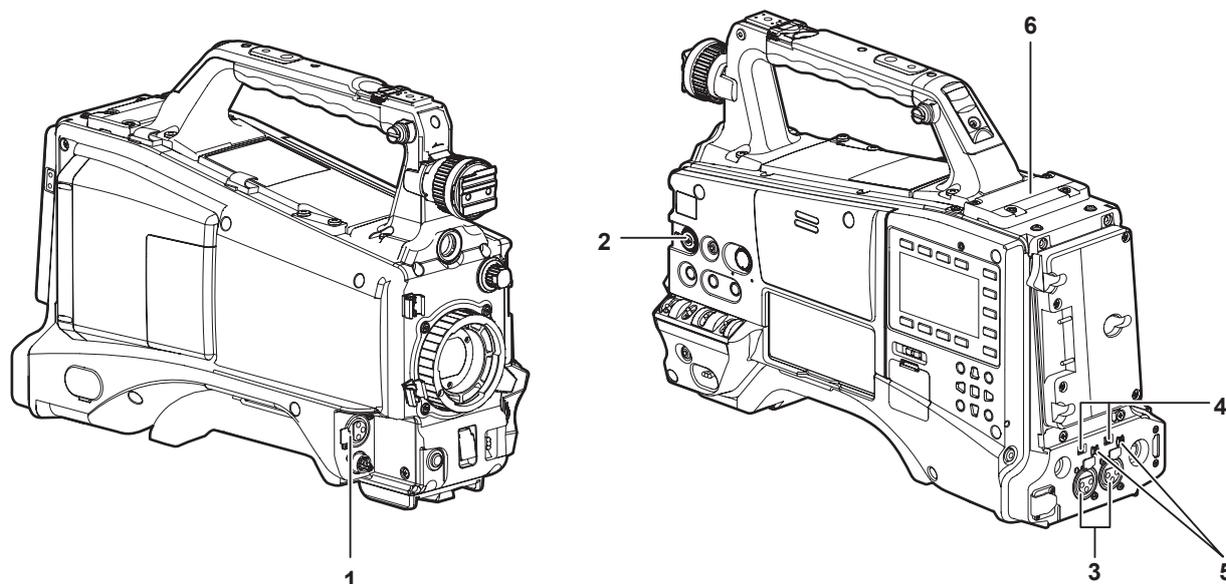
19 レンズ固定レバー

レンズをレンズマウントに取り付けた後、レバーを締めてレンズを固定します。

20 マウントキャップ

レンズ固定レバーを押し上げて、キャップを取り外します。レンズを取り付けていないときは、キャップを取り付けます。

音声機能部（入力系）

**1 〈MIC IN〉 端子**

マイク（別売品）を接続します。

- ファントムマイクも使用できます。使用するときは、メインメニュー→[AUDIO SETUP]→[INPUT SETTING]→[FRONT MIC POWER]で[ON]に設定してください。[ON]に設定しているときにマイクを接続していない場合、低周波のノイズが入る場合があります。マイク接続時には問題ありません。

2 〈F.AUDIO LEVEL〉 つまみ

音声チャンネル 1～4 の録音レベルが調整できます。

- SmartUI の [AUDI02:INPUT] 画面で録音レベルの調整方法を [MANU] に設定すると、このつまみで音声チャンネルの録音レベルが調整できます。
- メインメニュー→[AUDIO SETUP]→[RECORDING CH SETTING]→[FRONT VR CH1]、[FRONT VR CH2]、[FRONT VR CH3]、[FRONT VR CH4]で、このボリュームの操作をどの入力端子に対して有効にするかを設定できます。

3 〈AUDIO IN CH1/3〉、〈AUDIO IN CH2/4〉 端子

オーディオ機器、またはマイクを接続します。

4 〈LINE〉 / 〈MIC〉 スイッチ

〈AUDIO IN CH1/3〉 / 〈AUDIO IN CH2/4〉 端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

- 〈LINE〉：ライン入力オーディオ機器を接続しているときに選択します。
- 〈MIC〉：外部マイクを接続しているときに選択します。

5 マイク入力電源スイッチ

〈AUDIO IN CH1/3〉、〈AUDIO IN CH2/4〉 端子に接続されたマイクへの電源供給スイッチです。

- 〈+48V〉：マイクに +48 V 電源を供給します。
- 〈OFF〉：マイクに電源を供給しません。

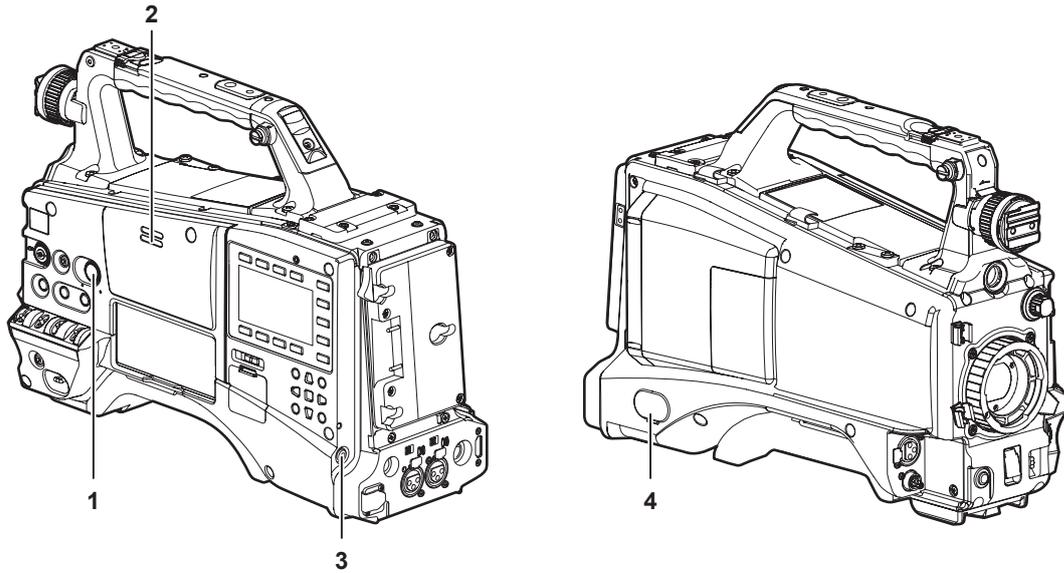
NOTE

- ・マイク入力 〈+48V〉 を設定しているときに 〈AUDIO IN CH1/3〉、〈AUDIO IN CH2/4〉 端子にマイクを接続していない場合、低周波のノイズが入る場合があります。マイク接続時には問題ありません。

6 ワイヤレススロット

UniSlot 方式のワイヤレスマイクレシーバー（別売品）を取り付けることができます。

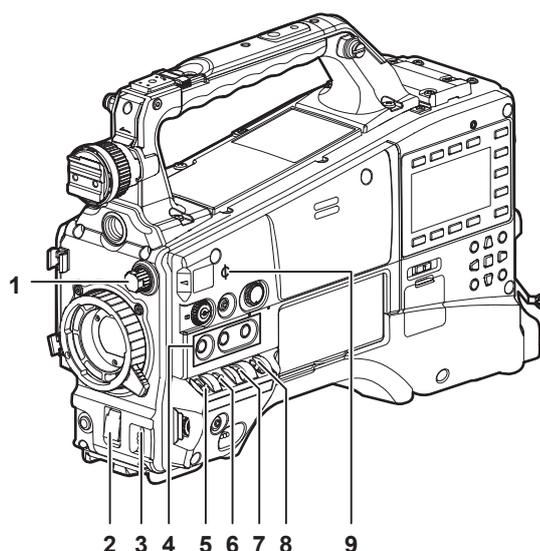
音声機能部 (出力系)



- 1 <MONITOR> つまみ
スピーカー、イヤホンの音量を調整します。
- 2 内蔵スピーカー
記録中は EE 音声を、再生中は再生音声をモニターできます。
<PHONES> 端子にイヤホンを接続すると、スピーカーからの音声が自動的に消えます。
- 3 <PHONES> 端子
音声モニター用イヤホンの接続端子です (ステレオミニジャック)。
- 4 <AUDIO OUT> 端子
音声チャンネル 1/2、または音声チャンネル 3/4 に記録された音声信号を出力します。
• 出力される信号は、SmartUI の [AUD03:MONI] 画面で選択します。

撮影・記録 / 再生機能部

撮影・記録 (カメラ部)



1 〈ND FILTER〉 つまみ

被写体の明るさに合わせてフィルターを選択します。

- 〈1〉〈CLEAR〉：ND フィルターを使用しません。
- 〈2〉〈1/4ND〉：MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。
- 〈3〉〈1/16ND〉：MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。
- 〈4〉〈1/64ND〉：MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。

2 〈SHUTTER〉 スイッチ

電子シャッターのスイッチです。

- 〈OFF〉：電子シャッターは動作しません。
 - 〈ON〉：電子シャッターが動作します。
 - 〈SEL〉：電子シャッターのスピードを変更できます。
- このスイッチは、跳ね返しスイッチになっています。〈SEL〉側に倒すごとに、シャッタースピードが変化します。

3 〈AUTO W/B BAL〉 スイッチ

〈AWB〉：ホワイトバランスを自動調整します。側面の〈WHITE BAL〉スイッチを〈A〉、または〈B〉の位置にして、スイッチを操作すると、数秒で調整され、調整値がメモリーに記録されます。〈WHITE BAL〉スイッチが〈PRST〉の位置の場合、〈AUTO W/B BAL〉スイッチを〈AWB〉側に倒して、色温度の表示中に再度〈AWB〉側に倒すことで、プリセットの色温度およびユーザーが指定するバリエーション値に切り替えることができます。

〈ABB〉：ブラックバランスを自動調整します。

4 USER (〈USER MAIN〉 / 〈USER1〉 / 〈USER2〉 ボタン)

ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。

5 〈DISP/MODE CHK〉 スイッチ

各種撮影状態の確認などができる跳ね返しスイッチです。

- 〈OFF〉側に倒すと、ビューファインダーの動作状態表示とエリアなどの枠表示、カウンター、マーカ、セーフティーゾーン表示以外の全ての表示が非表示になります。
- 〈CHK〉側に倒すと、撮影待機または撮影中に各種撮影機能の設定状態、USER ボタンに割り当てた機能の一覧などがビューファインダーに表示されます。情報の表示中にさらに再度〈CHK〉側に倒すと、次の情報ページに切り替わります。モードチェックの情報表示は約 3 秒で消えます。

6 〈GAIN〉 スイッチ

撮影時の被写体の明るさに合わせて、映像アンプのゲインを切り替えます。

- 〈L〉 / 〈M〉 / 〈H〉 ポジションのゲイン値は、メインメニュー → [SW MODE] → [LOW GAIN]、[MID GAIN]、[HIGH GAIN] で設定できます。
- 出荷時の設定は、L = 0 dB、M = 6 dB、H = 12 dB です。

7 〈OUTPUT〉 / 〈AUTO KNEE〉 選択スイッチ

カメラ部からメモリー記録部、ビューファインダー、ビデオモニターへ出力する映像信号を選択します。

〈CAM〉 / 〈ON〉：カメラで撮影している映像が出力され、オートニー機能が動作します。また、オートニー機能の代わりにダイナミックレンジストレッチャー (DRS) 機能を割り当てすることもできます。

〈CAM〉 / 〈OFF〉：カメラで撮影している映像が出力され、オートニー機能は動作しません。ニーポイントはメニュー操作で設定されたレベルに固定されます。

〈BARS〉 / 〈OFF〉：カラーバー信号が出力されます。オートニー機能は動作しません。

 NOTE

・オートニー機能

高輝度の背景で人物や風景などにレベルを合わせて撮影すると、背景が白くつぶれ、背景にある建物や風景がぼやけてしまいます。このようなときにオートニー機能を動作させると、背景がくっきりと再現できます。

オートニー機能は次のような場面の撮影に効果を発揮します。

- 晴天時に日陰の人物を撮るとき
- 車内または屋内の人物と、窓越しに屋外の風景を同時に撮影するとき
- コントラストの強い場面を撮るとき

各部の名称

8 〈WHITE BAL〉 スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を選択します。

〈PRST〉：ホワイトバランスを調整する時間がないときなどは、この位置に設定します。

•工場出荷時は、3200 K に設定しています。

•メインメニュー → [SW MODE] → [W.BAL PRESET]、または〈AUTO W/B BAL〉スイッチを〈AWB〉側に倒して、色温度の表示中に再度〈AUTO W/B BAL〉スイッチを〈AWB〉側に倒すことで、色温度を 3200 K、5600 K およびユーザーが指定するバリエーション値に順次切り替えることができます。バリエーション値はジョグダイヤルボタンで設定できます。

〈A〉 / 〈B〉：〈AUTO W/B BAL〉スイッチを〈AWB〉側に倒すとホワイトバランスが自動的に調整され、調整値が〈A〉または〈B〉に記憶されます。

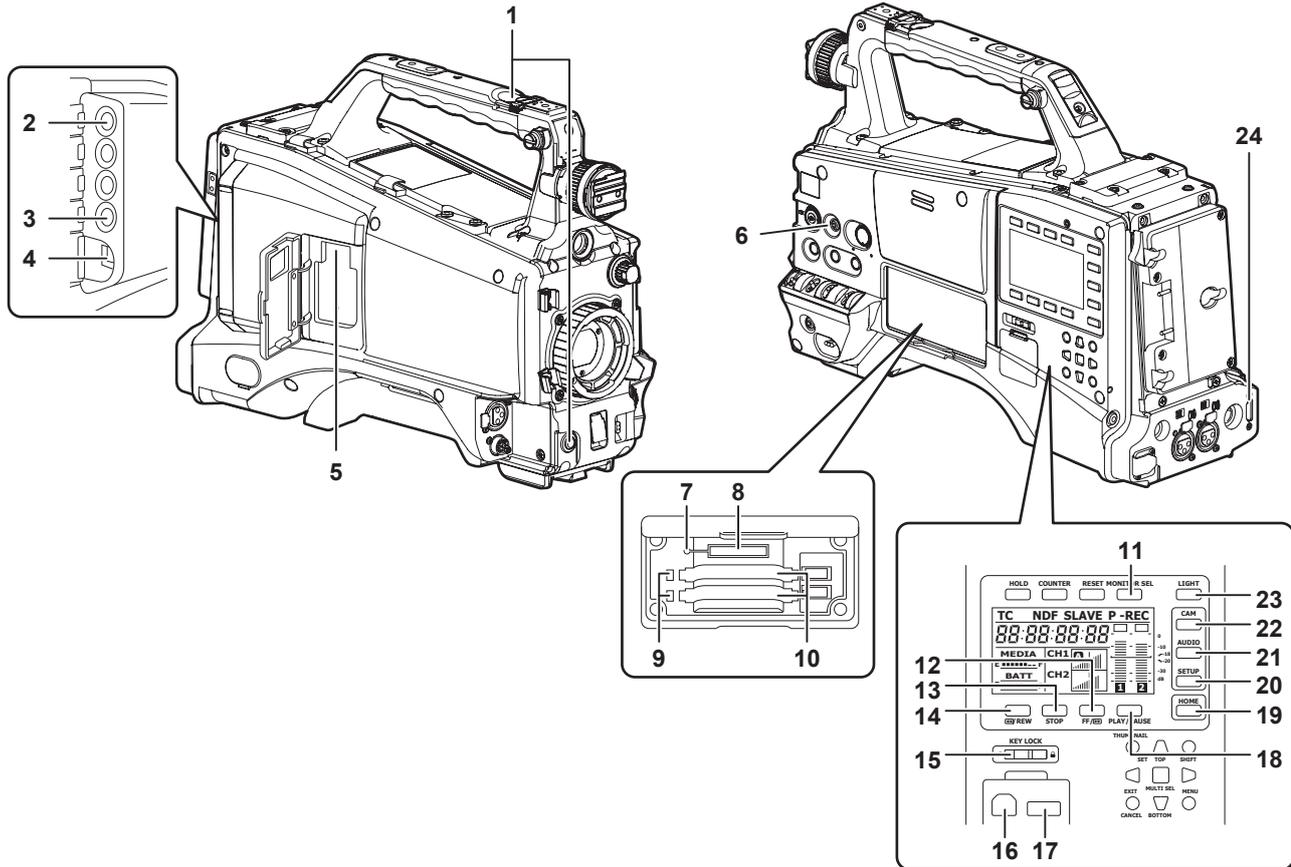
•メインメニュー → [SW MODE] → [ATW] で [Bch] を選択すると、自動追尾方式のオートトラッキングホワイトバランス (ATW) 機能を〈B〉に割り当てることができます。

9 焦点マーク 〈Φ〉

MOS センサーの焦点位置を示します。

被写体からの焦点距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。

撮影・記録 / 再生機能部 (記録部)



1 〈REC〉 ボタン

ボタンを押すと記録が始まります。再度押すと記録が停止します。

このボタンは、レンズ側の VTR ボタンと同じ機能です。

2 〈SDI OUT/IN (OP)〉 端子

SDI 信号の出力端子です。

•HD/SD SDI 入力ボード AG-YA600G (別売品) を装着すれば、SDI 信号の入力ができます。

3 〈MON OUT〉 端子

モニター用映像の出力端子です。〈SDI OUT/IN (OP)〉端子とは独立した映像が出力できます。また、SmartUI の [SET02:MON/HDMI FORMAT] 画面で HD SDI 信号またはダウンコンバートした SD SDI 信号、または VBS 信号が選択できます。クロスコンバートおよびアップコンバートには対応していません。

4 〈LAN〉 端子

LAN ケーブルを接続します。

NOTE

•〈LAN〉端子に接続するケーブルは、シールドケーブルをご使用ください。

5 〈USB2.0〉 端子 (サブホスト)

ワイヤレスモジュール AJ-WM30 (別売品) を装着します。または、4G/LTE USB モデム (別売品) と本体を接続する USB 2.0 延長ケーブルを装着します。

6 〈FOCUS ASSIST〉 ボタン

フォーカスアシスト機能の入 / 切ボタンです。

7 ビジー (動作状態表示) ランプ

SD メモリーカードの動作状態を表示するランプで、動作時に点灯します。

NOTE

- ・ランプ点灯時は、カードを出し入れしないでください。SD メモリーカードを破損するおそれがあります。

8 SD メモリーカードスロット

SD メモリーカード（別売品）の挿入口です。SD メモリーカードは、カメラの設定メニューやシーンファイルの記録 / 呼び出し、メタデータのアップロードやプロキシー記録などで使用します。

NOTE

- ・SD メモリーカードの使用上のお願い
 - 本機には、SD 規格、SDHC 規格、または SDXC 規格に準拠した SD メモリーカードを入れてご使用ください。プロキシー記録をする場合は、class2 以上のクラス表示がある SD メモリーカード、SDHC メモリーカードまたは SDXC メモリーカードをご使用ください。プロキシーデータの記録フォーマットが [SHQ 2CH MOV] または [AVC-G6 2CH MOV] の場合は、class4 以上のカードをご使用ください。
 - MMC (Multi Media Card) は使用できません。(撮影できなくなるおそれがありますので、お気をつけください)
 - miniSD/microSD カードを本機で使用する場合は、必ず、miniSD/microSD カード専用のアダプターを装着してご使用ください。(miniSD/microSD アダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。アダプターには必ず、メモリーカードを入れてご使用ください)
 - 当社製の SD メモリーカード、および miniSD/microSD カードをご使用いただくことをお勧めします。また、フォーマットは必ず、本機で行ってください。
 - 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>
 - SDHC メモリーカードは、2006 年に SD アソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの規格です。
 - SDXC メモリーカードは、2009 年に SD アソシエーションにより策定された、32 GB を超える大容量メモリーカードの規格です。

9 P2 メモリーカードアクセス LED

P2 メモリーカードスロットに挿入したカードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

10 P2 メモリーカードスロット**11 〈MONITOR SEL〉ボタン**

ボタンを押すごとに、スピーカー、〈PHONES〉端子、および〈AUDIO OUT〉端子に出力される音声チャンネルを [CH1/2]、[CH3/4] に切り替えます。連動して音声チャンネルレベルメーターのチャンネル表示も切り替わります。

SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

12 〈FF/▶▶〉ボタン

停止中に押しと高速再生になります。

再生中に押しと約 4 倍速の再生になります。

また、再生の一時停止状態のときに押しと、次クリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

13 〈STOP〉ボタン

再生を停止するときに押します。

また、インターバル記録、ワンショット記録を停止するときや、ワンクリップレックのクリップ連結をいったん終了するときに押します。

SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

14 〈◀◀/REW〉ボタン

停止中に押しと高速逆再生になります。

再生中に押しと約 4 倍速の逆再生になります。

また、再生の一時停止状態のときに押しと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

15 〈KEY LOCK〉スイッチ

SmartUI およびサムネール操作に関連する各ボタンの操作を禁止します。ただし〈LIGHT〉ボタンの操作は禁止されません。

16 〈USB2.0〉端子 (デバイス)**17 〈USB2.0〉端子 (ホスト)**

USB 2.0 ケーブルを接続します。

メインメニュー → [NETWORK SETUP] → [USB MODE] で [ON] に設定すると、USB 2.0 を使ったデータ転送ができます。

このとき、本機での記録・再生やクリップの操作は制限されます。

18 〈PLAY/PAUSE〉ボタン

再生画像を見るときに押します。

再生中に押しと、再生を一時停止します。

SmartUI の [HOME] 画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

19 〈HOME〉ボタン

SmartUI に [HOME] 画面を表示します。

20 〈SETUP〉ボタン

SmartUI に [SETUP] 画面を表示します。

21 〈AUDIO〉ボタン

SmartUI に [AUDIO] 画面を表示します。

22 〈CAM〉ボタン

SmartUI に [CAMERA] 画面を表示します。

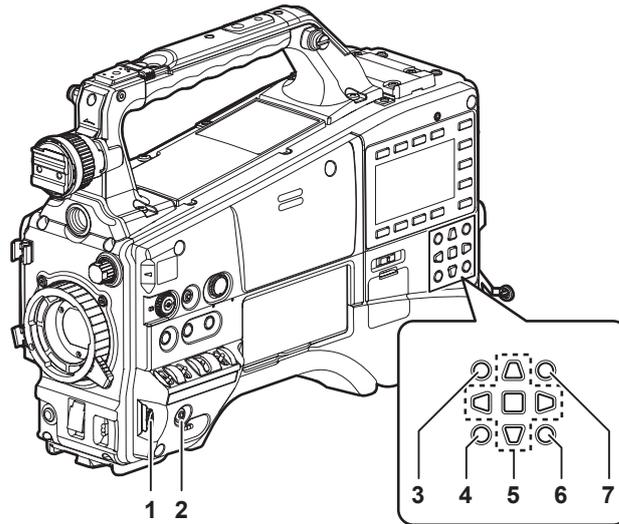
23 〈LIGHT〉ボタン

SmartUI の照明をコントロールします。押すごとに SmartUI の照明の点灯 / 消灯を切り替えます。

24 〈HDMI〉端子

モニター用映像の出力端子です。

メニュー操作部、およびサムネール操作部



1 ジョグダイヤルボタン

- 設定メニューを表示しているときは、設定メニューのページの移動、項目の選択や設定を行います。ジョグダイヤルボタンを下側に回すとカーソルが下側に移動します。上側に回すとカーソルが上側に移動します。また、ジョグダイヤルボタンを押すと設定内容が確定します。
- 設定メニューを表示していないときに、次の操作でシンクロスキャンの速度を調整できます。〈SHUTTER〉スイッチを〈ON〉から〈SEL〉側に数回押し、シンクロスキャンの状態、シャッタースピード表示をハイライト表示にして、ジョグダイヤルボタンで調整します。

2 〈MENU〉ボタン

ボタンを押すと、[USER MENU] が表示されます。ボタンを3秒以上押し続けると、メインメニューが表示されます。再度ボタンを押すと、もとの映像に戻ります。

記録中は、ボタン操作を受け付けません。

〈THUMBNAIL MENU〉ボタンと同じ動作になります。

3 〈THUMBNAIL〉ボタン

ボタンを押すと、ビューファインダーおよび本機に接続しているモニター画面にサムネール画面が表示されます。ただし、記録・再生中は、ボタン操作を受け付けません。

4 〈EXIT〉 / 〈CANCEL〉ボタン

設定メニューやプロパティ画面を表示中、表示を前の状態に戻します。

〈SHIFT〉ボタンを押しながらこのボタンを押すと、キャンセル機能として動作します。クリップ選択状態を一括で解除する場合などに便利です。

5 カーソル・〈SET〉ボタン

設定メニューやサムネールの操作を行います。

4つの三角形のボタンがカーソルボタンで、中心の四角形のボタンが〈SET〉ボタンです。

6 〈THUMBNAIL MENU〉ボタン

ボタンを押すと、[USER MENU] が表示されます。ボタンを3秒以上押し続けると、メインメニューが表示されます。再度ボタンを押すと、もとの映像に戻ります。

記録中は、ボタン操作を受け付けません。

〈MENU〉ボタンと同じ動作になります。

NOTE

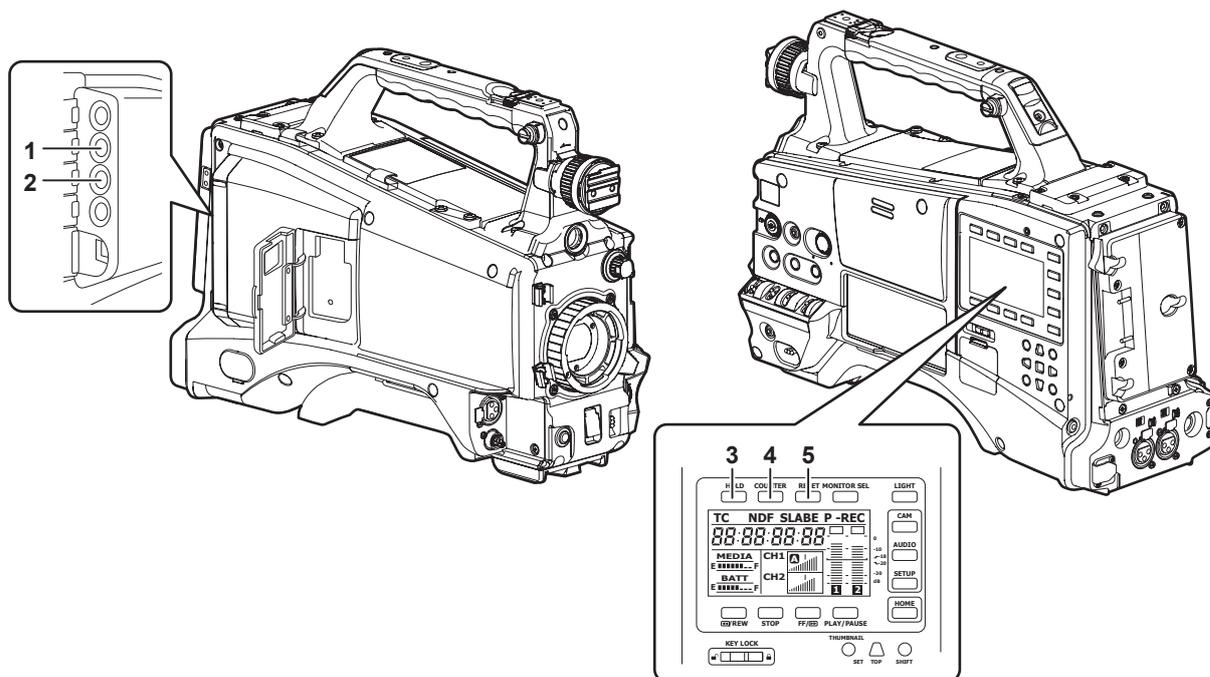
- サムネールの選択やメニューの操作にはカーソル・〈SET〉ボタン、〈EXIT〉 / 〈CANCEL〉ボタンを使用します。

7 〈SHIFT〉ボタン

別のボタンと同時に操作して使用します。〈SHIFT〉ボタンを押した状態での動作は、各ボタンの下側にオレンジ色で表示しています。

- 〈SHIFT〉ボタンを押しながらカーソルボタン (△/▽) を押す
サムネール画面で、先頭または最後のクリップのサムネールにカーソルを移動します。
- 〈SHIFT〉ボタンを押しながら〈SET〉ボタンを押す
直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択します。
- 〈SHIFT〉ボタンを押しながら〈EXIT〉 / 〈CANCEL〉ボタンを押す
キャンセル機能として動作します。

タイムコード関連部



1 〈GENLOCK IN〉 端子

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときの基準信号入力端子です。

NOTE

・入力信号は、HDのY信号またはコンポジット信号を供給してください。ただし、本機のコンポジット信号のサブキャリアを外部ロックさせることはできません。

2 〈TC IN/OUT〉 端子

タイムコードの入出力端子です。

- ・メインメニュー → [IN/OUT SEL] → [TC IN/OUT SEL] で入力 / 出力を切り替えます。
- ・タイムコードをロックするとき、基準となるタイムコードをこの端子に入力します。
- ・外部機器のタイムコードを本機のタイムコードにロックさせるとき、外部機器のタイムコード入力端子と接続します。

3 〈HOLD〉 ボタン

押した瞬間に、カウンター表示部のタイムデータ表示が保持されます。ただし、タイムコードジェネレーターは歩進し続けます。再度押すと、保持状態が解除されます。

あるシーンを撮影したタイムコード、またはカウンター値を知るときなどに使用します。

SmartUIの[HOME]画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

4 〈COUNTER〉 ボタン

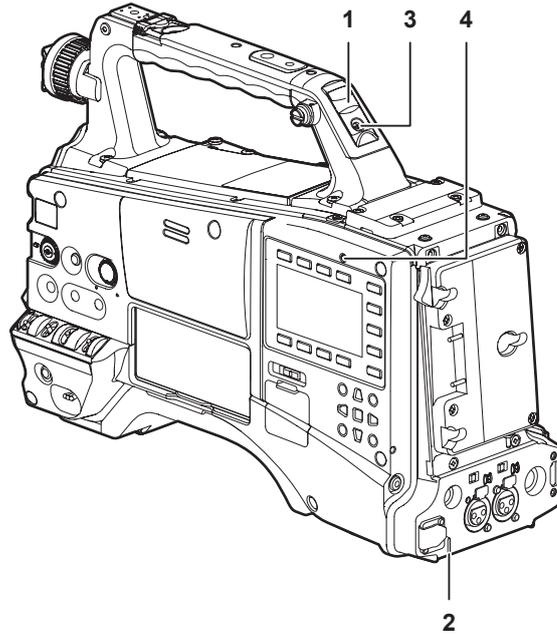
ボタンを押すごとに、カウンター値、タイムコード、ユーザズビット、およびVITCのユーザズビット情報をビューファインダーに表示します。SmartUIの[HOME]画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

5 〈RESET〉 ボタン

タイムコード表示部のカウンター値をリセットします。

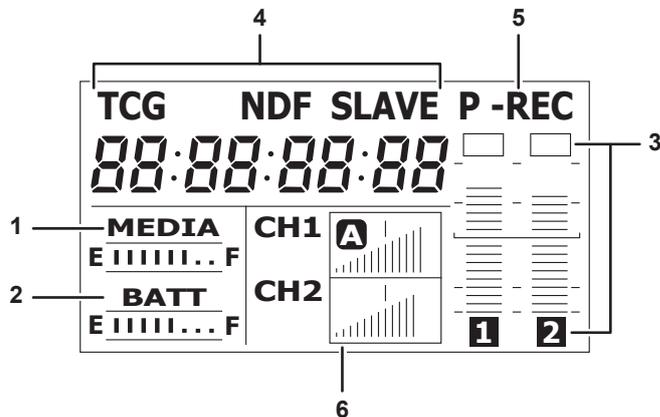
SmartUIの[HOME]画面以外の画面を表示している場合は、各設定画面に応じた機能が実行されます。

ワーニング / 状態表示部



- 1 **バックタリーランプ**
バックタリースイッチを〈ON〉にすると、ビューファインダーのフロントタリーランプと同じ動作をします。
- 2 **リアタリーランプ**
バックタリースイッチを〈ON〉にすると、バックタリーランプと同様に動作します。
- 3 **バックタリースイッチ**
バックタリーランプとリアタリーランプの動作をコントロールします。
〈ON〉：バックタリーランプとリアタリーランプが動作します。
〈OFF〉：バックタリーランプとリアタリーランプが動作しません。
- 4 **〈WARNING〉ランプ**
メモリー記録部に何らかの異常が発生すると、点滅または点灯します。

SmartUI 表示 ([HOME] 画面)



- 1 **メディア残量表示バー**
P2 カード残量を 7 個のセグメントで表示します。
1 個のセグメントが示す P2 カード残量時間は 3 分単位ごとに、セグメントが 1 個ずつ消えていきます。
- 2 **バッテリー残量表示バー**
デジタル表示 (% 表示) のバッテリーを使用した場合、バッテリー残量が 70% 以上のときに F の位置までセグメントが 7 個点灯します。
バッテリー残量が 70% 未満より 10% 減るごとに、セグメントが 1 個ずつ消えます。
- 3 **音声チャンネルレベルメーター**
1 セグメントは 2 dB 刻みとして、最小は -34 dB、[OVER] 表示は最上位の ■ で表示します。
〈MONITOR SEL〉ボタンを押すごとに、[CH1] / [CH2]、ステレオ、[CH3] / [CH4] が切り替わり、連動してレベルメーターのチャンネル表示も切り替わります。
モニター音声に出力されているチャンネルは、チャンネル表示が白抜き表示になります。
ステレオ選択時はチャンネル表示がどちらも白抜き表示になります。
- 4 **タイムコードに関する表示**
〈COUNTER〉ボタンを押すごとに、[COUNTER] / [CLIP] → [TCG [R]] → [UBG [R]] → [VUBG [R]] → [COUNTER] / [CLIP] (ビューファインダー表示なし) * → [COUNTER] / [CLIP] の表示順に切り替わります。

* ビューファインダーのタイムコードが非表示になります。

[COUNTER] / [CLIP] : カウンターを時 : 分 : 秒で表示します。メインメニュー → [DISPLAY SETUP] → [REC COUNTER] で [TOTAL] を選択している場合、[COUNTER] と表示されます。[CLIP] を選択している場合、[CLIP] と表示されます。

[TCG [R]] : タイムコード値を時 : 分 : 秒 : フレームで表示します。

[UBG [R]] : ユーザーズビット値を表示します。

[VUBG [R]] : VITC のユーザーズビット値を表示します。

[NDF] : タイムコードがノンドロップフレームのときに表示します。

[DF] : タイムコードがドロップフレームのときに表示します。

[HOLD] : タイムコードジェネレーター / リーダー値をホールドしたときに表示します。

[F-RUN] : 記録の操作に関係なく、連続してタイムコードを歩進する設定にしているときに表示します。

[R-RUN] : 記録中のみタイムコードを歩進する設定にしているときに表示します。

[SLAVE] : タイムコードの外部ロック時に表示します。

5 記録モード表示

[REC] : 通常記録

[P-REC] : プリレック

[I-REC] : インターバル記録

[L-REC] : ループレック

[S-REC] : サイマル記録

6 ステータス情報

オーディオレベル表示: オーディオ [CH1] / [CH3] または [CH2] / [CH4] のオーディオボリュームおよびオーディオレベルが自動調整モードであるかを表示します。自動調整モードのときは [A] と表示されます。

オーディオ入力: オーディオ [CH1]、[CH2]、[CH3]、[CH4] の入力設定を表示します。

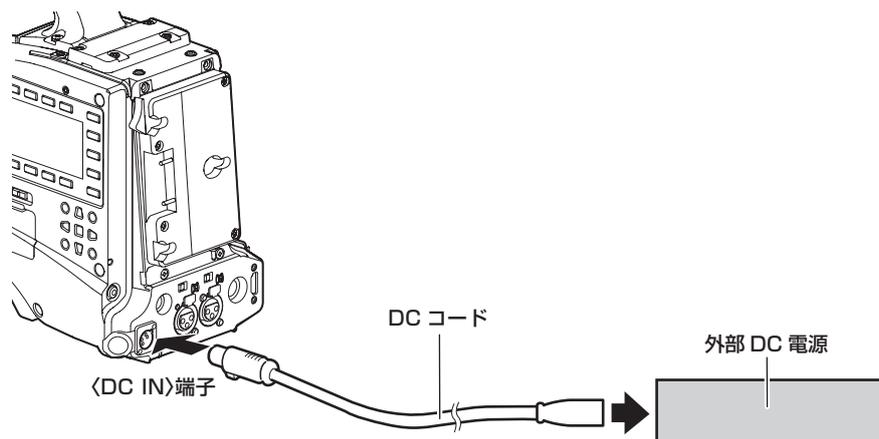
USB 接続時: メインメニュー → [NETWORK SETUP] → [USB MODE] で [ON] に設定しているとき、[USB MODE SELECT] で選択されたデバイスを接続している場合に表示します。

• USB ホストモード時: [USB STORAGE CONNECTED] / [USB STORAGE DISCONNECTED]

• USB デバイスモード時: [USB DEVICE CONNECTED] / [USB DEVICE DISCONNECTED]

エラー、カード警告表示: 何らかの原因で本機にエラーが発生したときにエラーコードを表示します。

外部 DC 電源の使用について



1 本機の〈DC IN〉端子と外部 DC 電源を接続する。

2 外部 DC 電源の〈POWER〉スイッチを入れる（外部 DC 電源に〈POWER〉スイッチがある場合）。

3 本機の〈POWER〉スイッチを〈ON〉にする。

■ 外部 DC 電源について

外部 DC 電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部 DC 電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。

接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力 ÷ 電圧

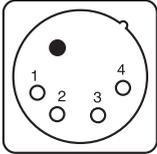
本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器（レンズ、ワイヤレスマイクレシーバーなど）の、総消費電力の 2 倍以上の電力を確保できる、外部 DC 電源のご使用をお勧めします。DC コードは AWG18（公称断面積 0.824 mm²）以上の芯線の 2 芯シールドコードをご使用ください。

• 外部 DC 電源の DC 出力端子と、本機の〈DC IN〉端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。

誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると、火災や故障の原因になります。

本機搭載ファームウェアのアップデート

| DC IN | |
|-------|-------|
| 1 | GND |
| 2 | NC |
| 3 | NC |
| 4 | +12 V |



パナソニック品番 : K1AA104H0038
メーカー品番 : HA16RX-4P (SW1) (76) (ヒロセ電機)

NOTE

- ・バッテリーと外部 DC 電源の両方を接続した場合、外部 DC 電源からの電源供給が優先されます。外部 DC 電源の使用中は、バッテリーの着脱もできません。
- ・外部 DC 電源を使用するときは、必ず外部 DC 電源の〈POWER〉スイッチを入れた後、本機の〈POWER〉スイッチを〈ON〉にしてください。逆の操作を行った場合、外部 DC 電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- ・〈DC IN〉端子からの電源供給時は、ライト回路が動作しません。アントンパワー製バッテリープレートからの電源供給時のみライト回路を使用できます。
- ・〈DC IN〉端子にバッテリーを接続する場合は、メインメニュー → [BATTERY SETUP] → [EXT DC IN SELECT] でバッテリーの種類を設定してください。ただし、この場合、残量表示機能があるバッテリーでも % 表示はできません。

本機搭載ファームウェアのアップデート

メインメニュー → [DIAGNOSTIC] → [VERSION] で本機のバージョンを確認のうえ、NOTE に記載された Web サイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

NOTE

- ・アップデートはダウンロードしたファイルを、SD メモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法について、詳しくは次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、P2 カードや SD メモリーカードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

| ご連絡いただきたい内容 | |
|-------------|-----------------|
| 品名 | メモリーカードカメラレコーダー |
| 品番 | AJ-PX800G |
| 製造番号 | |
| お買い上げ日 | |
| 故障の状況 | |

定格

定格

定格の詳しい内容については、取扱説明書をご覧ください。

総合

| | |
|---|---|
| 電源 DC 5V 12 V (11.0 V - 17.0 V) 消費電力 22 W (本体のみ、またはオプションボード AG-YA600G 装着時) | |
| <input type="checkbox"/> は安全項目です。 | |
| 動作周囲温度 | 0 °C ~ 40 °C |
| 動作周囲湿度 | 10% ~ 85% (相対湿度) |
| 保存温度 | -20 °C ~ 60 °C |
| 質量 | 約 2.8 kg (本体のみ、バッテリーおよび付属品を除く) |
| 外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行) | 本体のみ 144 mm × 267 mm × 350 mm (突起部分を除く) |

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。